

平成 29 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社グリーンペプタイド
代表者名 代表取締役社長 永井 健一
(コード番号：4594 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 酒井 輝彦
(TEL. 03-5840-7697)

(追加) 「商号の変更及び定款の一部変更に関するお知らせ」の一部追加について

本日開示いたしました「商号の変更及び定款の一部変更に関するお知らせ」の内容に追加がございますので、以降のとおりお知らせいたします。

添付書類・・・「社名変更のご案内」

以上

 GreenPeptide から

BrightPath

へ新しく生まれ変わります。

Biotherapeutics



このたび当社は、社名を「株式会社グリーンペプチド」から「ブライトパス・バイオ株式会社」へと変更するための議案を、本年6月29日の定時株主総会に上程することとなりました。

当社は、がん免疫療法の一つの形態である「がんペプチドワクチン」の創生をミッションとして2003年に創業し、これまで事業を展開してきました。この14年で、がん免疫療法をとりまく環境は一変し、各国で承認が進んでいる免疫チェックポイント阻害抗体が示したがん免疫療法の有効性は、がん治療の革新を確かなものにしていきます。この機会を背景として、当社も既に、細胞医薬や抗体医薬といった形態まで、がん免疫療法の開発領域を拓けています。その意味で、これまで皆様からご愛顧頂いて来た現社名グリーンペプチドが含むペプチド(ペプチド)は、開発領域の枠を想定させ、当社にとっては、言わば「殻」が小さくなって来ました。今、この殻を脱いで、新しいステージに入りたいと思います。

新しい社名の「ブライトパス(BrightPath)」は、「ブライト(Bright)」=輝く、と「パス(Path)」=道筋を合わせたもので、そこには3つの思いを込めました。

まずは、創業から変わらぬ、がんの克服に取り組む患者さんとそのご家族、医師、医療従事者を始めとするすべての人達にとっての「希望の光」となるようながん治療薬を創製したいという思いです。

大きなポテンシャルを示したがん免疫療法も、発展の途上にあります。世界的なテーマである「Personalized & Precision Medicine」=(患者一人ひとりにあった、治療効果予測精度の高い、治療)へ将来行き着くためには、人の体内で起こる複雑ながん免疫の仕組みについて解明しなければならないことがまだ多く残っていることが、この14年の間に起こったがん免疫療法の隆盛とともに、ますますわかってきました。

2つめは、その未解明の領域を、当社の「サイエンスの光」で照らすことあによって、がん治療革新の一翼を担いたいという思いです。

そして3つめは、古い殻を脱ぎ捨て新しいステージへと向かう第2創業期にあって、前人未踏の領域に挑む世界中の研究者・医師にとって、がん免疫療法が進むべき方向性(Path)を鮮やか(Bright)に指し示すリーダーに、我々がなるという決意です。

今後も、これまでと変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

2017年5月吉日

代表取締役社長 永井 健一

■ 新社名

ブライトパス・バイオ株式会社

(英文: BrightPath Biotherapeutics Co., Ltd.)

Bright(輝かしい)Path(道筋)。

■ 経営理念

私たちは、がん免疫治療分野の最先端を切り拓くことにより、一人ひとりが自らの力でがんを克服する世界を実現します。

経営理念を表す社名として、がんの克服を願うすべての人にとって「希望の光」となるがん治療薬の創製を目指すために、がん免疫療法を「サイエンスの光」で照らし、自らが前人未踏の領域を突破するための研究開発を推進する光となる意思を込めました。

■ 新ロゴマーク

BrightPath
Biotherapeutics

新たな解明・鮮やかな方向性(BrightPath)が起点となり、さまざまなアイデアを引きつけるとともに結びつけ(Connect)、次々とがん免疫治療薬を生み出していく事業活動や企業の意思を、BrightPathの文字の最後に飛び出すエレメントで表現しました。

■ 社名変更予定日

2017年7月1日